

平成22年度予算の概要

平成22年度の状況

大学機能九段集約のための施設として九段3号館が平成21年7月に竣工し、平成22年度新入生から九段キャンパスでの教育が開始され、附属沼南高等学校では、平成23年度の開校をめざし附属柏中学校の設置と「附属柏高等学校」への校名変更の準備が進んでいるほか、昨年度より新体育館の建築を開始し平成23年2月に完成する予定である。九段の附属高等学校では、生徒募集および教育の抜本的見直しなど中期計画を段階的に実施し、大学・両附属高等学校ともに新たな教育改革計画を推進する。

大学の教育・研究推進、両附属高等学校の教育の見直し、学生募集の強化、入口・出口対策、広報体制の充実、キャンパス整備、人事計画と適切な人事の推進、組織の効率化、財務改革、創立135周年関連など「新マスタープラン」に従って着実かつ段階的に実施する。また、法人の財務格付の結果を公表・活用し、自己点検・調査を実施するなど各種改善策を図ると共に、本学の知名度(ブランド力)の向上を通じて入学者の増大に結び付ける。

収入面では、補助金については、引き続き競争的補助金の獲得に努めていくほか平成19年12月より開始した恒常的な寄付金募集体制「二松学舎教育研究振興資金」を収入の一助とするとともに、安全性に配慮した資産運用を引き続き行い収入の多様化を通じて収益向上を図っていく方針である。さらに、財務改革の方策の一環として本学出資により立ち上げた事業会社(二松学舎サービス)を活用し、学生、教職員へのサービス向上に資する事業を拡大させ収益事業の一環として対応していく。また、支出面については、附属柏中学校を平成23年度に開設予定(認可申請中)であり、各種広報および生徒募集活動を実施する。

大学九段集約に向けた事務組織の見直し、事務の効率化を図りつつ教職員の定員制の遵守により人件費の削減を図るほか、経費全般の見直しを行うことにより収支改善を図ることを平成22年度の予算編成方針とした。

平成22年度の収支状況

1. 消費収支予算書について(別表5)

(1) 消費収入の部について

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、37億8千万円となる見込みである。
- ② 寄付金は、二松学舎教育研究振興資金の募集により3千3百万円を見込んでいる。
- ③ 補助金は、大学及び両附属高等学校とも経常費補助金を主な収入として見込んでおり7億9千4百万円を計上している。前年度比2億3千3百万円の減少となっているが、これまで実施してきた附属沼南高校の防音工事(防衛省補助事業)が前年度までで完了したためである。
- ④ 資産運用収入は、安全性に配慮した資産運用を行い、1億7百万円を見込んでいる。
- ⑤ 雑収入は、退職金団体からの交付金6千万円と併せて8千9百万円を見込んでいる。

⑥ 基本金組入額は、附属沼南高校新体育館の建設など施設整備及び設備備品の取得などにより、5億2千7百万円を計上している。

(2) 消費支出の部について

- ① 人件費は、27億1千1百万円(前年度比2千8百万円増加)となる見込みである。
- ② 教育研究経費は、施設設備の整備、情報システム関連経費、本学所蔵資料及び紀要のデジタル化ほか特別事業費を織り込み、14億4千5百万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設・設備の維持管理費と事務システム関連経費のほか、附属柏中学校の設置に伴う特別事業費等を織り込み、4億3千6百万円を見込んでい

これらの結果、帰属収入は49億2千4百万円、基本金5億2千7百万円組入後の消費収入合計は43億9千7百万円、消費支出合計は46億3千1百万円となり、2億3千4百万円の消費支出超過となる見込みである。

2. 資金収支予算書について(別表6)

収入の部は、寄付金収入、補助金収入の減少、有価証券の満期到来による資産売却収入の増加、沼南高校新体育館の建築に伴う私学事業団からの資金借入により当年度収入額は72億5千5百万円となり、前年度繰越支払資金21億5千6百万円と合わせて収入額合計は94億1千1百万円となる見込みである。

支出の部は、施設設備整備費支出の減少等により当年度支出額は65億5千7百万円となり、次年度繰越支払資金は28億5千4百万円となる見込みであり、収入・支出とも前年度に比べて減少となる見込みである。

別表5 消費収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成22年度 予 算	平成21年度 実 績	増 減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	3,780	3,728	52
手数料	115	138	△ 23
寄付金	33	62	△ 29
補助金	794	1,027	△ 233
資産運用収入	107	124	△ 17
資産売却差額	4	7	△ 3
事業収入	2	6	△ 4
雑収入	89	51	38
帰属収入合計	4,924	5,143	△ 219
基本金組入額合計	△ 527	△ 957	430
消費収入の部合計	4,397	4,186	211
消費支出の部			
人件費	2,711	2,682	28
教育研究経費	1,445	1,491	△ 46
管理経費	436	456	△ 20
借入金等利息	40	44	△ 4
資産処分差額	0	371	△ 371
消費支出の部合計	4,631	5,045	△ 414
当年度消費支出超過額	△ 234	△ 859	625
前年度繰越消費収入超過額	1,382	2,241	△ 859
翌年度繰越消費収入超過額	1,148	1,382	△ 234

注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

別表6 資金収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成22年度 予 算	平成21年度 実 績	増 減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	3,780	3,728	52
手数料収入	115	138	△ 23
寄付金収入	28	56	△ 29
補助金収入	794	1,027	△ 233
資産運用収入	107	124	△ 17
資産売却収入	1,338	312	1,026
事業収入	2	6	△ 4
雑収入	89	51	38
借入金等収入	500	2	498
前受金収入	1,004	903	100
その他の収入	641	3,142	△ 2,501
資金収入調整勘定	△ 1,142	△ 1,232	90
当年度資金収入合計	7,255	8,257	△ 1,002
前年度繰越支払資金	2,156	1,824	332
収入の部合計	9,411	10,080	△ 670
支出の部			
人件費支出	2,724	2,725	△ 1
教育研究経費支出	946	1,037	△ 91
管理経費支出	411	431	△ 19
借入金等利息支出	40	44	△ 4
借入金等返済支出	250	251	△ 1
施設関係支出	679	1,480	△ 802
設備関係支出	149	286	△ 137
資産運用支出	1,414	562	851
その他の支出	159	1,365	△ 1,207
資金支出調整勘定	△ 214	△ 256	42
当年度資金支出合計	6,557	7,925	△ 1,368
次年度繰越支払資金	2,854	2,156	699
支出の部合計	9,411	10,080	△ 670